

## 資本コストや株価を意識した経営の推進・対話の促進

- 機関投資家との間でこれまでの進展を振り返り【2025年春～夏】
  - 取組みを進める企業の課題解決を後押し ⇒ 資料 2
    - 好事例集に開示内容だけでなく検討プロセスの要素を追加し、企業の検討を後押しするための材料を提供（従来の好事例・ギャップ事例についても継続的にアップデート）【2025年夏～秋】
    - 機関投資家とのコミュニケーション促進【継続】（コンタクト希望一覧の活用状況の把握、対話機会・理解を深める機会の設定など）
- ※ 経営者向けの啓発活動（セミナー等）なども継続的に実施

## 資本コストや株価を意識した経営を推進する中での課題

### 親子上場

- グループ経営や少数株主保護に関する検討・開示を推進
    - 親子上場等に関する投資者の目線も踏まえ、開示状況をフォローアップ【2025年秋】
    - 開示のポイント・事例集の公表【2025年冬】
- ※ 少数株主保護の観点から必要な上場制度の整備についても、検討を継続（上場子会社の独立社外取締役の独立性確保など）

## MBO・支配株主による完全子会社化が増加する中での課題

### 非公開化

- 一般株主の公正な利益確保の観点から、特別委員会における検討の実効性向上や必要な情報開示の充実を推進
  - 企業行動規範の見直し【パブコメ中】

※ 非公開化の場面など社外取締役向けの啓発（セミナー等）を実施

## スタートアップ企業の成長促進

- 上場前から上場後にかけて、継続的に高い成長を目指していただくための施策をパッケージで検討・推進【まとめ次第】 ⇒ 資料 3
  - 上場後の高い成長を見据えた IPO の推進
  - 「高い成長を目指した経営」の働きかけ
  - 上場維持基準の見直し（5年経過後 100 億円）
- グロース市場の魅力向上と対応のサポート
  - 好事例の提供、啓発活動（セミナー等）、機関投資家との接点づくりなど

## 経過措置の終了に伴う対応

- 経過措置終了のスケジュールや改善期間入り企業について、株主・投資者への周知・注意喚起を強化【2025年春～】 ⇒ 資料 4
  - 取引所ウェブサイト（特設ページの新設）
  - 証券会社（顧客である個人投資家への周知依頼）
  - メディア（記事や広告の掲載等）
- 改善期間入り企業に対し、取組みの進捗や上場廃止リスク等について、株主・投資者への丁寧な説明・情報提供を要請、必要な取組の検討・実施も促進【2025年春～】
  - 株主総会・IR説明会等での説明・情報提供を要請
  - 他社のコーポレートアクション（適合、市場変更、非公開化等）の状況を周知
  - 適合に向けた取組みの進捗状況に加えて、他のコーポレートアクションの検討状況の開示も求める